

22 海人科

全体計画

1. ねらい

- (1) 糸満市教育課程特例校「海人（うみんちゅ）科」における海洋教育の取り組みの充実を図る。
- (2) 「海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する」学習の推進を図り、海洋への関心を高める。
- (3) 「海」という視点を通じて、体験活動やそれらを組み合わせた探究活動を図り、知識・技能、思考力・判断力・表現力を高める。
- (4) 教科横断的な視点に立ち、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成する。
- (5) 生徒が自己の将来や生き方を考え、主体的に進路選択できるよう、キャリア教育の視点からも学習の充実を図る。

2. 方針

- (1) 各学年 15 時間の設定とする。（総合的な学習の時間から 10 時間、学級活動から 5 時間）
※実施は、時間割上の総合的な学習の時間の中で行う。
- (2) 各学年海人科のテーマの下展開する。

1 学年	2 学年	3 学年
「環境と海洋教育」	「地域と海洋教育」	「生きる」と海洋教育」

- (3) 体験的な活動だけではなく、「探究的な学習」となるよう工夫する。
- (4) 各教科年間指導計画において、海洋教育との関連する内容がある場合はそれを位置づける。
- (5) SDGs や NIE の視点を取り入れた展開を図る工夫をする。
- (6) 全職員の共通理解を図り、十分な協力体制を整える。

3. 年間計画

***海人科 15 時間以上（原則：総合から 10 + 特活から 5）**

学年	月	主な活動内容	時数	計	関連教科
1	4	○オリエンテーション・アンケート	1	15	特活
	5	○海洋教育講話「海ゴミ問題について」 沖縄水産高等学校 ○ビーチクリーン「美々ビーチにて」	2 2		理科 社会
	6	○探究活動 (アート作品制作、調べ学習等) ※学年発表会へ向けてプレゼンテーション準備も兼ねる	8		理科 社会 技術
	7	○学年発表会	2		
2	4	全体オリエンテーション、アンケート	1	1	
	5	ビーチクリーン	2	6	特活
		課題設定、活動計画、班編成	2		道徳
		各班に分かれて調査、アンケートの作成	2		社会 理科
	6	講話「ジョン万次郎と糸満」	2	6	社会 理科
		海と観光、産業について調べ学習①	2		
		海と観光、産業について調べ学習②	2		
	7	発表に向けての準備①(ポスター、CM等)	2	4	国語 美術 英語
		発表に向けての準備②(ポスター、CM等)	2		
9	まとめ	2	4	特活	

学年	月	主な活動内容	時数	累計	関連教科
3	4	○オリエンテーション ※事前アンケート	1	1	特活
		○海洋教育講話Ⅰ「生きる」 講師：災害プラットフォームおきなわ 有村博勝さん	2 <u>特活</u> 2h	3	保健 理科
	○防災キャンプ ※美々ビーチ、ふるさと公園（午前中） ①防災調理（湯せん・炊き出し訓練）：（食） ②火おこし&キャンプ体験（廃材等を使用+魚料理）：（食） ③水作り体験（海水をろ過し、飲み水に）：（食） ④シェルター作り（トイレ・寝室等）&ロープワーク：（住） ⑤サバニを使った防災トレーニング （転覆からのセルフレスキュー等）：（医） ⑥救急救命・救助訓練等：（医）	6 <u>総合</u> 3h <u>体育</u> 2h <u>特活</u> 1h	9	保健 家庭科 技術	
	5	○海洋教育講話Ⅱ「大規模災害から学ぶ（東日本大震災からの教訓）」 ※リモート講話予定 講師：	2 <u>特活</u> 2h	1 1	技術 国語 理科
	○防災キャンプや講話を通して学んだことをまとめる（個人）① ○今後取り組みたい活動を考える（個人） ・クロームブックのドキュメントを使用し、防災キャンプで学んだことをまとめる。 ※例を参考に自由に作成する。 スライド5枚程度	2	1 3		
	○防災キャンプや講話を通して学んだことをまとめる（個人）② ○個人で考えた今後の取り組みについて具体的な実施内容、実施方法を考える。 ・クロームブックの活用	2	1 5		
	6	○学級発表会（4~5名グループ） ※事後アンケート	2	1 7	